

積雪路・凍結路を走るなら

ノーマル
タイヤ

NO



冬場になると、道路の積雪や凍結により、ノーマルタイヤを装着した車両が立ち往生して、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こしています。

詳しい
情報は
コチラ



積雪・凍結道路ですべり止めの措置をとらない運転は

法令違反

反則金
普通車 6千円

となります。

都道府県道路交通法施行細則または道路交通規則にて積雪または凍結した路面での冬用タイヤの装着等いわゆる防滑措置の義務が規定されています。(沖縄県を除く) 違反行為は、反則金の適用となります。(大型車：7千円、普通車：6千円、二輪車：6千円、原付車：5千円)

※ タイヤチェーン未装着車の通行を禁止する規制時は、冬用タイヤであっても、タイヤチェーンの装着が必要です。

冬の安全ドライブ事前注意報

突然の積雪や路面凍結時には事故・トラブルが発生しています

冬の安全ドライブには
事前の備えが重要です

非降雪地域

でも

冬用タイヤの装着
をお奨めします

降雪地域

早めの

では

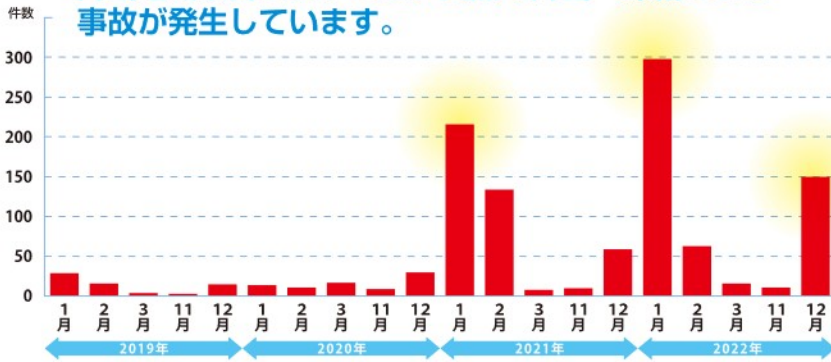
冬用タイヤ装着
が大切です



積雪・凍結路面時の事故発生件数

<東京、愛知、大阪、広島、福岡 合計>

降雪地域以外においても、突然の降雪・凍結による事故が発生しています。



公益財団法人交通事故総合分析センター「都道府県別・発生月別・路面状態別 全事故件数」より

JAFロードサービス救援要請件数

<中部エリア降雪時>

降雪時、JAFのロードサービスの救援要請は、急増しています。

	中部エリア計	前週比
降雪前週3日間	4,971	
降雪3日間	7,312	147%

データ提供元: JAF中部本部

降雪前週 3日間: 2021年12月20日~22日

降雪 3日間: 2021年12月27日~29日

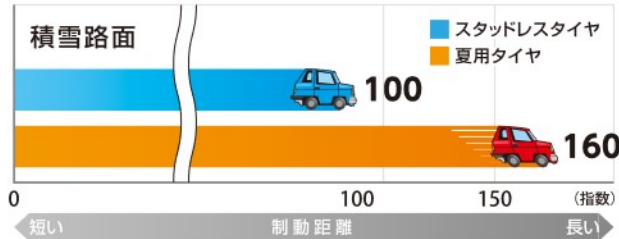
積雪、凍結路で冬用タイヤを装着していないと…



制動距離が違う

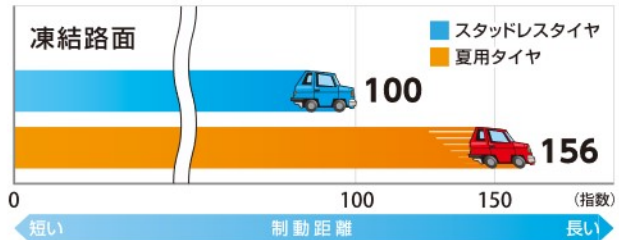
夏用タイヤのままでは、制動距離が長くなります。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの制動距離指数



[試験条件]

- タイヤサイズ: 195/65R15
- 空気圧: 220kPa
- 車種: 乗用車(後輪駆動、2000cc)
- 初速度: 40km/h
- 実施場所: タイヤメーカーテストコース
- ABS 有り



[試験条件]

- タイヤサイズ: 195/65R15
- 空気圧: 220kPa
- 車種: 乗用車(後輪駆動、2000cc)
- 初速度: 25km/h
- 実施場所: タイヤメーカーテストコース
- ABS 有り

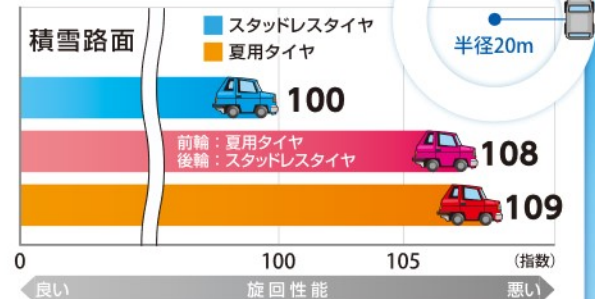
スタッドレスタイヤでの制動距離を100として指数表示し、指数が大きい方が制動距離が長いことを示す。



旋回性能が違う

駆動輪のみ冬用タイヤを装着しても夏用タイヤ(全車輪)並みの性能で、挙動が安定しません。

●スタッドレスタイヤと夏用タイヤの旋回性能指数



スタッドレスタイヤでのラップタイムを100として指数表示し、指数が大きい方がラップタイムが遅くなり、旋回性能が劣ることを示す。

[試験条件]

- タイヤサイズ: 195/65R15
- 車種: 乗用車(後輪駆動、2000cc)
- 路面の種類: 積雪路面
- 実走行による定常円旋回のラップタイムを計測。
- 空気圧: 220kPa
- 実施場所: タイヤメーカーテストコース
- ABS 有り

冬用タイヤを**全車輪**に装着してください!